

令和5年10月19日

## 令和8年度第41回国民文化祭の開催地を内定します

令和8年度第41回国民文化祭の開催地を、高知県に内定いたしますのでお知らせします。

なお、内定書は、下記日程で山田文部科学大臣政務官から高知県知事に手交します。

### 1. 国民文化祭の概要

国民文化祭は、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策と有機的に連携しつつ、地域の文化資源等の特色を生かした文化の祭典であり、各種の文化活動を全国規模で発表、共演、交流する場を提供するとともに、文化により生み出される様々な価値を文化の継承、発展及び創造に活用し、一層の芸術文化の振興に寄与するものです。

### 2. 開催県の内定について

国民文化祭の開催地については、開催希望のあった地方公共団体のうちから、文化庁長官が決定することになっています。令和8年度開催について高知県から要望があり、今般、内定することになりました。

### 3. 内定書交付式

日 時：令和5年10月19日（木）14：05

場 所：山田文部科学大臣政務官室

出席予定者：濱田 省司（はまだ せいじ）高知県知事

<担当>文化庁参事官（芸術文化担当）付

学校芸術教育室

室 長 高橋 由紀

文化活動振興係長 外尾 倫美

電話：03-5253-4111（代表）内線 2832

E-Mail：artedu@mext.go.jp

# 「第41回国民文化祭・こうち2026（仮称）」について

## 高知県の基本的な考え方

- 高知県は、輝く太陽のもと、黒潮が打ち寄せる変化に富んだ海岸線をはじめ、四万十川に代表される清流や緑深い山々など、美しく豊かな自然に恵まれています。こうした風土が自由で豪快な気風や大らかな中にも芯の通った気質と行動力に富む県民性を育み、歴史的にも数多くの先人・偉人を輩出してきました。
- それぞれの地域では、有形・無形の文化財をはじめ、「皿鉢料理」に代表される食文化、平安時代から脈々と引き継がれてきた「遍路文化」、土佐和紙などの伝統工芸、今では海外にも広がりを見せている「よさこい」や「まんが」など、特色ある文化を今に伝え、発展させてきました。
- 一方、近年では、少子・高齢化と過疎化の進展に伴い「担い手」が不足し、次代への伝承が危ぶまれる伝統行事や民族芸能も少なくありません。このような中、本県において国民文化祭を開催することは、県民一人ひとりが本県の文化の価値を再認識し、また、文化芸術活動により一層親しむ絶好の機会になるものと捉えております。
- 全国から注目を集めるこの大会を契機として、本県における文化芸術のさらなる振興と、中山間地域などに残る伝統芸能の再興につなげていきたいと考えております。

## 開催時期

令和8年 秋（予定）

## 参考

### 国民文化祭の開催実績及び開催県の内定状況

回	年度	開催地	回	年度	開催地	回	年度	開催地
第1回	S61	東京都	第15回	H12	広島県	第29回	H26	秋田県
第2回	S62	熊本県	第16回	H13	群馬県	第30回	H27	鹿児島県
第3回	S63	兵庫県	第17回	H14	鳥取県	第31回	H28	愛知県
第4回	H1	埼玉県	第18回	H15	山形県	第32回	H29	奈良県
第5回	H2	愛媛県	第19回	H16	福岡県	第33回	H30	大分県(2)
第6回	H3	千葉県	第20回	H17	福井県	第34回	R1	新潟県
第7回	H4	石川県	第21回	H18	山口県	第35回	R2(3)	宮崎県
第8回	H5	岩手県	第22回	H19	徳島県	第36回	R3	和歌山県
第9回	H6	三重県	第23回	H20	茨城県	第37回	R4	沖縄県
第10回	H7	栃木県	第24回	H21	静岡県	第38回	R5	石川県(2)
第11回	H8	富山県	第25回	H22	岡山県	第39回	R6	岐阜県(2)
第12回	H9	香川県	第26回	H23	京都府	第40回	R7	長崎県
第13回	H10	大分県	第27回	H24	徳島県(2)	第41回	R8	高知県
第14回	H11	岐阜県	第28回	H25	山梨県			

(今回内定)